

2012年11月1日

# E M C 通信

事業主任主題：今こそワイズへ！！

担当事業：クラブ拡張（E）＋会員増強・維持・啓発（MC）＋広報（PR）

会員増強事業主任 鈴木 茂（横浜つづき）

## YMCA 幼稚園とタイアップした会員増強作戦

### 東京江東クラブにおける取組み

### 1. バランスのとれた会員構成

東京江東クラブは、本年5月以降既に3人の新入会員を確保し、現在の会員数は33人（内広義会員2人）を数える。また、本年7月1日現在の会員平均年齢は55.1歳、その年齢構成は30代：2人、40代：10人、50代：10人、60代：3人、70代：6人、90代：1人と、誠にバランスを得た会員構成を実現している。特に40代・50代を中心にワイズでは若手と言われる世代を着実に確保している点が注目される。

そこで東京江東クラブにおける会員増強活動について、現会長の酒向裕司さん並びに藤井寛敏さん、香取良和さんに最近の取組み状況を伺った。

### 2. YMCA 幼稚園園児のパパさんゲット

東京江東クラブは、毎月の例会など活動の拠点を江東区石島に所在する「江東YMCA」に置いている。この「江東YMCA」のメイン事業は「幼稚園」である。東京江東クラブは、ワイズ本来の使命であるYMCAサービスの実践として、バザー・運動会・プール組立・館内ワーク・遊具補修等YMCA江東幼稚園の諸行事に積極的に参加してきた。それは幼稚園園児のパパさん、ママさんなど保護者とふれ合い、話し合い、共に汗を流す場でもあった。さらに江東クラブは幼稚園児・小学生低学年を対象にした「ワイズカップ・サッカー大会」をホストとして開催してきた。

こうしたワイズメン・メネットの無償の奉仕の姿は、幼稚園保護者会のメンバーに大きな感動を与え続けてきた。そして、幼稚園保護者の中から一人二人とワイズに入会するパパさん達が出てきた。もちろんワイズメン・メネット側からも、幼稚園行事に参加しているパパさん・ママさん達をクラブの例会やイベントにお誘いし、折にふれ「ワイズ」の趣旨、目的をお話しするなど、クラブ入会をお勧めする努力は惜しまなかった。

現クラブ会長の酒向裕司ワイズも、お子さんが YMCA 幼稚園に通っていたことが縁で入会したパパさんグループのお一人である。酒向ワイズにクラブ入会の動機を伺ったところ、「子供たちがお世話になった YMCA 幼稚園に何か恩返しをしたかった。これは他の入会者にも共通する気持ちである」との回答が返ってきた。正に YMCA サービスの精神そのものである。その酒向ワイズも、今は例会や諸行事とその後の懇親会、飲み会などクラブ・ライフを大いにエンジョイしているお一人である。

### 3. 担当主事との固い信頼関係

ここで見逃すことができないのは、東京江東クラブと YMCA 側の窓口である「幼稚園・園長」兼「クラブ担当主事」との間に固い信頼関係が築かれてきたことである。藤井ワイズと香取ワイズはこの関係を「江東クラブは YMCA 幼稚園が言うことを 100%聞いてきた。それはワイズメンが YMCA の精神と事業に共感し、そのファンになったからこそ実現した。」と表現しておられた。ワイズメン・メネットの「愛情あふれる奉仕活動」に対し、クラブ担当主事も幼稚園保護者会と江東クラブとの間を取持つかたちで 100%以上の誠意をもって応えてくれた。ここに江東クラブと担当主事との間に固い信頼関係が形成された。この信頼関係は、本行輝雄担当主事時代に確立されて以来、堀江和広前担当主事（現在 YMCA しののめこども園・園長）時代に強化され、現在の佐藤信也担当主事へと受け継がれている。両者のこの信頼関係を、今年 7 月に一クラブ員として東京江東クラブに再入会された前担当主事の堀江和広こども園園長は、江東クラブのブリテン 8 月号に「再入会挨拶」として、次のように表現しておられる。

「江東ワイズメンズクラブの担当主事を離れ約 1 年 4 ヶ月が過ぎようとしています。初めての「認定こども園」でしたが、2011 年 4 月に無事開園する事ができ、現在では乳児から幼児まで 262 名のこども達が、元気に登園しています。開園当初から、地域・家庭・こども園の 3 者が協力し合いながら「子育て」をしていく事を願い、その環境作りをして参りました。その理想の姿は、まさに「江東幼稚園・江東センター」の姿であり、それは江東ワイズメンズと YMCA の協力関係の姿でした。こども園でも「おひさま会」と呼ばれる保護者会が組織され、活動も活発になってきました。イベントや園行事では、お父様達が積極的にお手伝いして下さる姿が多くなり、とても嬉しく思っています。然しながら、こども達や保護者をもっともっと目を輝かせ、楽しく園生活や子育てに関わるには、江東クラブのようなワイズが必要であり、ワイズとの協力関係の中で、その土台をじっくりと築いていく事が、しののめこども園には重要な事と強く感じています。再入会をさせて頂き、多くのことを学びながら、新しいワイズメンズクラブの設立を進めたいと願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。」

### 4. 「YMCA こども園」を核とした新クラブ設立構想

堀江和広ワイズは上記「再入会挨拶」の最後に、新任地の「YMCA しののめこども園」で新しいワイズメンズクラブの設立をすすめたい、と述べておられる。これは驚くべきことである。YMCA の幼稚園保護者との協力関係から生まれ、成果をあげてきた会員増強活動の **Membership & Conservation** が、実は **Extension**=新クラブ設立の原動力にもなっているわけである。

東京江東クラブには既に「こども園」のパパさんを中心に東雲地区のメンバーが何人か入会しておられる。今後とも「こども園」関係者の会員を、当初は東京江東クラブの会員として受け入れ、一定数の会員が揃った段階で、関係会員の転籍によって東雲地区に新クラブを設立する構想である。実はこの新クラブ設立構想は、「東京ひがしクラブ」との共同で推進していると伺っている。新クラブ設立の方式として大変良い参考になる。

最後に藤井ワイズが YMCA 以外の関係に基づく会員増強活動も、江東クラブにとって大きな課題であることを強調しておられたことが印象に残った。

以上